

玉城愛さん 私たちはアメリカの奴隷ではない

「県民大会」で、若い世代代表として登壇した玉城愛さん(三〇)のスピーチ全文は次の通り。

被害に遭われた女性へ。絶対に忘れてください。あなたのごとを思い、多くの県民が涙し、怒り、悲しみ、言葉にならない重くのしかかるものを抱いていることを、絶対に忘れないでください。あなたと面識のない私が発言することによって、あなたも、あなたがこれまで大切にされてきた人々を傷つけていないかと日々葛藤しながら、しかし黙りたえない、そういう思いを持っています。どうぞお祈りください。あなたもあなたのご家族、あなた大切な人々に平安を願うが永遠にありまように、私も祈り続けます。

安撫官(三六) 日本本土にお住まいのみなさんへ。今回の事件の「第二の加害者」は、あなたたちです。しっかりと、沖縄に向き合っていたりませんか。いつまで私たち沖縄県民は、ばかにされるのでしようか。パトカーを増やして護身術を学ばせ、私たちの命は安全になるのか、ばかにしないでください。

軍隊の本質は人間の命を奪うことだと、大学で学びました。再発防止や検閲防止などという使い古された幼稚で安易な提案は意味を持たず、軍隊の本質から目をそらす。私自身は、どんな沖縄で生きていきたいのか、私が守るべき、私が生きている意味を考えると、何なのか、日々重くのしかかるものを抱えながら現在、生きています。

女性暴行殺害事件に抗議する沖縄県民大会

被害者の父「なせ娘は殺されなければならなかったのか」

沖縄の県民大会では、事件で犠牲になった女性の父親が寄せたメッセージが読み上げられた。全文は次の通り。



知事発言要旨

翁長雄志おなが、たけし 沖縄県知事の「県民大会」での発言要旨は次の通り。

「県民大会」で演説する 沖縄県の翁長雄志知事

【辺野古移設】

事後の日本前閣僚会談で日米地位協定の見直しに言及せず(米軍普天間飛行場は)辺野古移設が唯一の解決案となっている。問題を解決しようとする先に、いかに大きな犠牲が立ちはたかっているか、私たちが思いを致さなければならぬ。心を一つにして、強い意思と、誇りを持ってこの壁を突き崩していかなければならぬ。今日を決議の日にして全力で頑張っていくようではありませんか。

【基地負担】

政府は県民の怒りが限界に達しつつあり、これ以上の基地負担、犠牲は許されないとを理解すべきだ。このように県民の先頭に立って日米地位協定の抜本的な見直し、撤兵、撤去、基地の整理縮小、新辺野古基地建設阻止に取り組む不遺餘の決意を表明したい。

決議全文

沖縄の女性暴行殺害事件に抗議する「県民大会」の決議全文は次の通り。

めにも全基地撤去、辺野古新基地建設に反対。県民が一つになれば可能だと思っています。県民、各市民として強く願っています。この米場の動きを、心より感謝申し上げます。平成二十八年六月十九日、娘の父より

戦後七十一年にわたって米軍が存在している結果、復帰後だけでも、米軍の犯罪事件が五千九百十件発生し、そのうち凶悪事件は五百七十五件のぼる異常事態である。県民の人命といのちを守るためには、米軍基地の大規模な整理、縮小、なかでも海兵隊の撤去は急務である。私たちは、今県民大会において、以下決議し、日米両政府に対して、強く要求する。

- 一、日米両政府は、遺族及び県民に対して改めて謝罪し、完全な補償を行うこと。
- 二、在中米海兵隊の撤退及び米軍基地の大規模な整理・縮小、県内移設によらない普天間飛行場の閉鎖・撤去を行うこと。
- 三、日米地位協定の抜本的改定を行うこと。